

- 3403 縫(ぬい)・石川/奥泉(おくいづみ)?- ? 江前期加賀藩前田吉徳側室、歌;「善良院殿御詠歌集」、
[縫の法号] 善良院清心日芳大禪定尼
- 3400 ぬ(ぬい)ひ ? - ? 女流俳人;1774美角「ゑぼし桶」入、
「名月や女のたたく寺の門」(「ゑぼし桶」)
- 3418 縫(ぬい)・正木まさき、初名;崎/号;妙相院)1758-181760 近江彦根の歌人;小県清庵(公器きんかた)門、
真如院女君に出仕、のち藩主井伊直中(なおなか)に出仕、歌;[彦根歌人伝・続寿]入
- 3416 縫(ぬい)・千種ちくさ、初名;舩/号;鳩山)1843-9048 播磨明石の生/国学者・歌;岩崎長世門、
丹後氷上郡柏原八幡神社祠官
- 縫殿(ぬい)・水野 → 重孟(しげたけ)・水野みずの、藩士) R 2 1 2 7
- 縫殿(ぬい)・富田 → 景周(かげちか)・富田とだ/とみた、藩士/儒者) E 1 5 9 6
- 縫殿(ぬい)・山内 → 広通(ひろみち)・山内やまのうち/藤原、家老) H 3 7 2 6
- 縫殿(ぬい)・檜垣 → 常有(つねあり)・檜垣/度会、神職) B 2 9 6 6
- 縫殿(ぬい)・檜垣 → 常古(つねふる)/つねひさ・檜垣/度会、神職) D 2 9 6 2
- 縫殿(ぬい)・檜垣 → 貞度(さだり)・檜垣/度会、神職/国学) J 2 0 2 8
- 縫殿(ぬい)・檜垣 → 常善(つねよし)・檜垣/度会、神職/記録) E 2 9 2 5
- 縫殿(ぬい)・檜垣 → 貞俊(さだとし)・檜垣/度会/松木、神職) I 2 0 8 6
- 縫殿(ぬい)・八幡 → 光瓊(みつてる)・八幡やわた、神職/国学) D 4 1 9 4
- 縫殿(ぬい)・山崎 → 岡臥(こうが)・山崎、藩士/軍学/俳人) H 1 9 8 2
- 縫殿(ぬい)・京極 → 高或(たかもち)・京極、藩主/俳人) N 2 6 3 6
- 縫殿(ぬい)・久志本 → 常達(つねたつ)(常達(つねみち)・久志本/度会、神職/国学) D 2 9 8 7
- 縫殿(ぬい)・山田 → 通孝(つうこう)(通亨(つうこう)・山田、神職/連歌) 2 9 3 5
- 縫殿(ぬい)・稲次 → 正礼(せいらい)(成礼(せいらい)・稲次いなづ/稲、藩士/暦算) J 2 4 8 6
- 縫殿(ぬい)・久志本 → 常彰(つねあきら)・久志本/度会、神道/歌) B 2 9 5 7
- 縫殿(ぬい)・六人部 → 是香(よしか)・六人部むとべ、国学/神道/歌) 4 7 0 4
- 縫殿(ぬい)・吉川 → 林久(しげひさ)・吉川よしかわ/藤原、神職/国学) a 2 1 0 7
- 縫殿(ぬい)・福原 → 資氏(すけうじ)・福原ふくはら/伊達、藩士) G 2 3 0 6
- 縫殿(ぬい)・松田 → 元兆(もとよし)・松田/上部、国学者) E 4 4 7 7
- 縫殿(ぬい)・岡田 → 経資(つねすけ)・岡田おかだ/荒木田、神職/国学) F 2 9 4 5
- 縫殿(ぬい)・大内 → 義門(よしかど)・大内おおうち、藩国老/国学) L 4 7 9 3
- 縫殿(ぬい)・戸田 → 信敏(のぶとし)・戸田とだ/藤原、藩老/国学) F 3 5 9 0
- 縫殿(ぬい)・薄井 → 繁仲(しげなかつ)(緜仲(しげなかつ)しげなか・薄井/臼井/平、国学) R 2 1 8 4
- 縫殿(ぬい)・松田 → 雪柯(せつか)・松田、元兆男/神職/書家) K 2 4 7 7
- 縫殿(ぬい)・浜田 → 康次(やすつぐ)・浜田はまだ、藩士/文武) G 4 5 4 4
- 縫殿(ぬい)・岡 → 千広(ちひろ)・岡おか、国学者) M 2 8 2 8
- 縫殿(ぬい)・宮川 → 経輔(つねすけ)・宮川みやがわ/山部、神職/国学) G 2 9 5 2
- 縫殿(ぬい)・久志本 → 常伴(つねとも)・久志本くしもと/度会、神職/国学) F 2 9 6 4
- 縫殿(ぬい)・森 → 為壽(ためかず)・森もり/袴田、国学者) 2 7 0 1
- 縫殿右衛門(ぬいえもん)・渋谷 → 良信(よしのぶ)・渋谷しげや、幕臣) F 4 7 5 8
- 縫右衛門(ぬいえもん)・酒井 → 魯斎(ろさい)・酒井さかい、藩士/俳人) B 5 2 5 6
- 縫右衛門(ぬいえもん)・矢彦 → 知充(ともみつ)・矢彦やひこ、国学/書/俳人) W 3 1 7 8
- 3415 縫子(ぬいこ)・大山おおやま、)1749-181163 三河吉田の国学者/歌人;本居宣長門
- 3404 縫子(ぬいこ)・菱田ひしだ/旧姓;河合、菱田光賢妻)1750-180152 江戸国学者/歌人;荷田蒼生子(たみこ)門、
早く夫と死別/師の跡を継嗣;歌文を教授、1795「杉のしづ枝」編(蒼生子家集;没後10年)、
伊勢津藩の江戸藩邸で講義中に急死(1801[享和元]5月16日)
- 3417 縫子(ぬいこ)・本荘ほんじょう、了潤[1796-1868]女)?-? 佐渡金井町本屋敷の真宗得勝寺の生、

幼時に傷害;終生嫁がず、歌人;父門、裁縫に長ず、近村の子女を指導、
甥の本莊了寛(1847-1920/笠野典蔵男)の少年期を養育、父の病牀時の看護に尽力、
[あな尊と仏崎てふ浦に来て思はず御名を唱へつるかな](仏崎にて/[名所歌集]入)

- 縫次郎(ぬいじろう・岡本) → 氏広(うじひろ・岡本おかもと、歌人) E 1 2 4 6
 縫殿左衛門(ぬいざえもん・大地) → 文室(あやよし・大地おおち、藩士/詩/書) F 1 0 1 7
 縫殿頭(ぬいのかみ・巨瀬) → 至信(ゆきのぶ・巨瀬こせ、旗本/藩士/幕臣/歌) G 4 6 8 2
 縫殿頭(ぬいのかみ・松平) → 勝定(かつさだ・松平、幕臣/記録) N 1 5 3 1
 縫殿頭(ぬいのかみ・松平) → 近韶(ちかつぐ・松平まつだいら、幕臣/歌) L 2 8 6 6
 縫殿助(ぬいのすけ・小笠原) → 持広(もちひろ・小笠原/杉浦、幕臣/故実) B 4 4 6 0
 縫殿助(ぬいのすけ・小笠原) → 持易(もちやす・小笠原おがさわら、幕臣/故実) B 4 4 7 5
 縫殿助(ぬいのすけ・真野) → 時綱(ときつな・真野まの/藤波、神職) J 3 1 3 5
 縫殿助(ぬいのすけ・巨勢) → 利和(としより・巨勢こせ/松平、幕臣/歌人) O 3 1 2 2
 縫殿助(ぬいのすけ・狩野) → 永納(えいのう・狩野、絵師) 1 3 4 4
 縫殿助(ぬいのすけ・狩野) → 永敬(えいけい・狩野、絵師) C 1 3 6 5
 縫殿助(ぬいのすけ・狩野) → 永伯(えいはく・狩野、絵師) D 1 3 3 1
 縫殿助(ぬいのすけ・狩野) → 永良(えいりょう・狩野、絵師) D 1 3 4 2
 縫殿助(ぬいのすけ・狩野) → 永岳(えいがく・狩野、絵師) C 1 3 5 9
 縫殿助(ぬいのすけ・狩野) → 山雪(さんせつ・狩野、絵師) E 2 0 5 2
 縫殿助(ぬいのすけ・江沢) → 講修(ときなが・江沢えざわ/源、国学/歌) J 3 1 6 0
 縫殿助(ぬいのすけ・朽木) → 大綱(おおつな・朽木くつき/源、幕臣/歌人) D 1 4 7 1
 縫殿助(ぬいのすけ・京極) → 高矩(たかのり・京極きょうごく、藩主/国学) W 2 6 8 1
 縫殿助(ぬいのすけ・岡本) → 況斎(きょうさい・岡本、儒/国学者) I 1 6 7 9
 縫殿助(ぬいのすけ・大給) → 乗友(のりとも・大給だいぎゅう/松平、藩主) H 3 5 5 6
 縫殿助(ぬいのすけ・近藤) → 用吉(もちよし・近藤こんどう/藤原/木下、旗本/歌) I 4 4 7 9
 縫殿介(ぬいのすけ・河田) → 安尚(やすひさ・河田かわた、藩士/歌人) C 4 5 7 5
 縫殿介(ぬいのすけ・土方) → 有経(ありつね・土方ひじかた、沼津藩家老) G 1 0 5 3
 縫殿介(ぬいのすけ・堀家) → 政富(まさとみ・堀家ほりけ、神職/国学者) M 4 0 9 1
 縫殿介(ぬいのすけ・吉成) → 安理(やすまさ・吉成よしなり/清原、神職/歌) H 4 5 0 2
 縫殿介(ぬいのすけ・新田) → 景宜(かげよし・新田にた、藩士/国学) V 1 5 3 4
 縫殿介(ぬいのすけ・山本) → 季護(すえもり・山本やまと/高木、官人/国学) J 2 3 3 6
 縫殿之助(ぬいのすけ・大久保) → 忠尚(ただひさ・大久保、国学者) F 2 6 6 9
 縫殿之助(ぬいのすけ・水野) → 重孟(しげたけ・水野みずの、藩士) R 2 1 2 7
 縫殿之助(ぬいのすけ・館松) → 千足(ちたり・館松たてまつ、神職/国学/歌) M 2 8 8 1
 縫殿之允(ぬいのすけ・岡田) → 経資(つねすけ・岡田おかだ/荒木田、神職/国学) F 2 9 4 5
 縫之助(ぬいのすけ・後藤) → 尚豊(ひさとよ・後藤ごとう、庄屋/地誌) I 3 7 0 9
 縫之助(ぬいのすけ・高橋) → 善道(よしみち・高橋たかはし、幕臣/和算家) H 4 7 4 2
 縫之助(ぬいのすけ・玉井) → 行篤(ゆきあつ・玉井たまい、藩士/国学) G 4 6 9 9
 縫之助(ぬいのすけ・柳) → 尚簡(ひさひろ・柳やなぎ/梅谷/山本、神職/国学) M 3 7 1 4

3401 額田王(ぬかたのおおきみ、鏡王(かがみのおおきみ)の女) 637?-? 690存/60歳頃没 大海人皇子の妻/十市皇女の母、
天智天皇の妻、万葉一期歌人、万葉11首入、新勅以下3首、
[熟田津にきたつに船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな](万葉;8、
百濟救援のため661[斉明7] 1月14日伊予熟田津行宮に泊)

- 額田部皇女(ぬかたべのひめみこ) → 推古天皇(すいこてんのう) 2 3 5 7
 糠屋七兵衛(ぬかやしちべえ) → 豊信(とよぶ・石川、絵師) R 3 1 4 2

3402 野雁(ぬかり/のかり・安藤あんどう、北村重有男) 1815-6753 陸奥(岩代)伊達郡桑折の半田銀山の生、
北村家は半田銀山の監史(地方役人)の家、1821(7歳)父没;同郡代官寺西家に養育、
半田銀山役人安藤政直の婿養子、歌;寺西元栄もとなが門/国学;内池永年門、
1837(23歳)寺西元栄に随行し豊後日田に住/江戸の埴忠宝の塾に修学、歌;村田春門、
一時八丁堀同心某の養子;離縁、各地を流浪、万葉集の研究に励む、
1852「刀禰記」54「せき山」57「万葉集新考」、「大伴宿禰家持卿伝」著、貧窮生活、

1864(元治元)自撰歌集「野鴈集」/65「道の菅の根」著、1866「冑山防戦記」著、武蔵熊谷に没、
[わが顔を壁の穴よりうかがひつ鼠の友と思ふなるべし]、
[野雁(；号)の名/通称]名；政美、通称；刀禰とね/謙次

- 3405 **糠人**(ぬかんど・岡田おかだ、名；維清、宗継男)1797-1863⁶⁷ 摂津伊丹の酒造家、俳人；大坂の林曹門、
1845正門伝系を受、曲阜・可大・鶯宿と交流、藤本鉄石と親交、
1846-50「糠人連句集」著、1855「杉苗集」著、59「糠人俳諧集」「かさりたる」編、
「糠人選左右発句合」「集冊至来控」編/「糠人・学仙・曲阜歌仙」「糠人発句集」著、
「糠人発句帖記録」「糠人聞書」「俳諧用帖」「糠人林曹両吟」著、
[糠人(；号)の字/通称/別号]字；子寅、通称；鹿島屋利兵衛、
別号；柿園/鹿心園、法名；宗維
- 3419 **貫勉**(ぬさかつ・渡辺わたなべ、)1814-1866⁵³ 美濃羽栗郡竹ヶ鼻村の味噌醸造業、
歌人；桂園派、俊明(1854-1931通称；左一郎・伝右衛門/号；松園・松坪/歌人)の父、
[貫勉(；名)の初名/通称]、初名；勉/通称；孫三郎/伝右衛門
- 3406 **抜気大首**(ぬきけのおおびと) ? - ? 奈良期官人、万葉二期歌人、万葉集卷九1767-9：
築紫に赴き豊前国の娘子おとめ紐児ひものこを娶った歌3首、
[豊国の香春かはらは我家わぎへ紐児にいつがり居れば香春は我家](万葉；1767/今は香春かはら)
諸説；①抜=氏、気大けた=名、首=姓 ②抜気=氏、大首=姓
- 3413 **貫名**(ぬさな・荒井あらい、通称；和平/正木園) 江後期文政1818-30頃；加賀金沢の歌人/能書家
- 3409 **抜裏近道**(ぬけうらのちかみち) ? - ? 狂歌、橘州門、1782「狂歌若葉集」入
抜留(ぬける・紀) → 紀抜留(きのぬける、狂詩作者) G 1 6 1 1
- 3407 **主住**(ぬしずみ・山路やまじ、字；君樹/通称弥左衛門、聴雨/蓮見軒、本姓平)1704-72⁶⁹ 和算；義太門、
天文曆算；元圭/良弼門、幕臣天文方/曆算、「分合術」「凶象志」「点竄」「分合術」編、
「極数詳解」「円象志」「仮名曆注解」、「山路君樹先生茶話」外著多数、之徼ゆきよの父
- 3410 **奴睡**(ぬすい) ? - ? 山城伏見の俳人；1691賀子「蓮実」入；173、
[虎杖いたどりに酒のむ尼の庵かな](蓮実；173/淫戒酒戒を犯す尼；虎杖は流産を促す)
野足(ぬたり・巨瀬) → 野足(のたり・巨瀬、廷臣) 3 5 6 1
鐸舎(鐸屋ぬでのや) → 千楯(ちたて・城戸・蛭子屋、書肆/国学) 2 8 1 3
奴弓乃舎(ぬでのや) → 菅緒(すがお・長谷川、医/国学/歌) B 2 3 6 2
- 3408 **沼河比売**(奴奈宜波ぬながわひめ)?-? 記紀歌謡；高志(越)国沼河[姫川]の女神、
八千矛神やちほこのかみ(大国主命)の妻問いを受け、神語かむがたりと称する歌謡を唱和、
- 3412 **沼名子**(ぬなこ・木谷きたに、忠英ただひで男)1810-1827^{夭逝18歳} 江後期肥前長崎の歌人；父門、
父は和算家で歌人
瓊音(ぬなと・進藤) → 千尋(ちひろ・進藤、坊官/国学/歌) F 2 8 2 6
- 3414 **蓴**(ぬなわ・池内いけうち、作右衛門男)1819-81⁶³ 越前丸岡藩士、歌；本間游清門/茶；杉浦一溪門、
維新後；藩主有馬道純に随い東京住、
[蓴(；名)の通称] 魯竜/潜
沼の藤六(ぬまのとうろく) → 藤六(とうろく・野間、御伽咄家) I 3 1 5 0
- 3411 **奴良蔵人**(ぬらくらんど) ? - ? 江戸の狂歌作者；1785「徳和歌後万載集」1首入；
[朝な夕な桜のちりにまじはりて掃除しながら花をみやつこ](後万載；856)
(みやつこは神官；見るを掛ける)
塗師屋源三郎(ぬりしやげんざぶろう) → 源三郎(げんざぶろう・蒔絵師まきえし、蒔絵/塗師) B 1 8 9 0
努類雄(ぬるお・秩父根) → 秩父根努類雄(ちちぶねぬるお、狂歌作者) L 2 8 0 5